

令和6年度「南城市幼児教育の質向上強化事業」活動記録簿

幼児教育アドバイザー	大城美恵子	実施場所	南城市役所1階大会議室
実施日時	令和6年6月26日(水) 13:30~14:45		
事業の名称	南城市幼児教育施設主任・保育者等研修会 講話「幼児が主体的に遊びこむための環境構成と援助について」		
参加者	認可保育園22名 こども園15名 小規模保育園1名 認可外保育園6名 行政7名 合計51名		

1 内容

講話「幼児が主体的に遊びこむための環境構成と援助について」

講師：コスモストーリー保育園 園長：天願順優氏



講師：天願順優氏

○子どもの主体的な遊びの展開に向けて

- ・子どもの興味・関心を語り合う。子どもの願いを捉えて、増幅し環境に反映させる。保育者が仕掛けたことに対してヒットしないことも経験を次へ活かす。2割ヒットでもいいよね！
- ・急な変化ではなく、小さな歩幅で共に歩む感覚。

○保育記録をもとに語り合う

- ・この時のこの場面のこの子の気持ちをみんなで考え合う。
- ・違う意見を出し合うような安心感
- ・個別具体的事例をもとに語り合う。子どもの固有名で語る。
「～ね」(終助詞)語り合いの中にそれが多いと良い。
過去・現在そして未来へ⇒子どもの姿ベースの週日案



○銀行型教育から**対話的実践**へ(フレール)

○ツリーハウス型から**リゾーム型**の知識へ

○効率的な実践から**スローな実践**へ

その土地に根差した豊かな保育実践を目指して

【まとめ】

- ・子どもの主体的な遊びの展開について⇒子どもの興味を保育者の主体性を介して増幅
- ・子どもの興味を増幅させる環境作り⇒願い(やりたい)をとことん環境に、そして対話へ

2 成果 (参加者からの感想)

- ・今回の研修を受けて子どもの探究心を盛り上げる環境づくりが大切なのだと感じました。また、印象に残ったことは「8割からぶり、でも2割ヒットしたらの気持ちが大切」という言葉です。
- ・日々の保育でなかなか思うようにいなくても子どもの興味に合った保育が少しでも展開できればその遊びをつなげて広げていくことが大切なのだとしるしを聞いて勉強になりました。今後の保育にも生かしていきたいです。



- ・子どもの「○○やりたい」の声に「じゃあやってみよう」の実践行動の規模が違って感動した。すぐに行動に移せる環境を作っていきたい。保育者にすぐOKを出せる園でありたい。

●参加者からの感想を全園へ送信し共有することで保育の改善につなげる。

